

船舶事故等調査報告書

平成25年5月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第162号
事故等種類	乗組員負傷
発生日時	平成24年9月9日（日） 16時00分ごろ
発生場所	神奈川県平塚市所在の国道1号線馬入橋上流 （概位 北緯35°20.4′ 東経139°22.2′）
事故等調査の経過	平成24年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ サザンクロスⅡ、0.2トン
船舶番号、船舶所有者等	235-47893神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型船舶操縦士
死傷者等	負傷 1人（船長）
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平塚市所在のマリーナ前面の相模川において、速力約80km/hで遊走中、船長が、ハンドルを左に切ってアクセルを放した際、平成24年9月9日16時00分ごろ右舷方に振り飛ばされて落水した。 船長は、落水する際、右肘が右胸と接触したことにより、肋骨骨折を負い、救急車で病院に搬送された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 3、視界 良好 海象：水面 平穏
その他の事項	船長は、ラッシュガード（マリンスポーツ用の薄手のシャツ）の上 にライフジャケットを着用し、グローブは着用していなかった。 船長は、水上オートバイの操船経歴が約2年あり、過去に何度も速力約80km/hで振り飛ばされて落水した経験があった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、相模川を速力約80km/hで遊走中、船長が、ハンドルを左に切った際、アクセルを放したことから、右舷方に振り飛ばされ、右肘が右胸に接触し、負傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、相模川を速力約80km/hで遊走中、船長が、ハンドルを左に切った際、アクセルを放したため、右舷方に振り飛ばされ、右肘が右胸に接触したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・水上オートバイでは、十分に速力を落としてから旋回すること。